

ポートフォリオのメンテナンスについて

夫婦ゲンカをする時、たいてい原因となるのは「余計なひと言」です。妻が言ったことばの枝葉を気にして、それがどうしても頭の中にこびりつき、つい言ってしまうのですね、「余計な・ひと言」を。

些細なことを気にしすぎ、それに固執してしまう・・・。
すると「全体像」が見えなくなってしまいます。あっ、投資も同じですよ。あなたの投資において「全体像」とは、ポートフォリオのことです。些細なことを気にし、ひとつの金融商品の値動きに固執してしまっていたら、「全体像」＝ポートフォリオに戻ってください。

縁側に座って、庭園を眺めるように、あなたのポートフォリオ＝円グラフを眺めてみるのです。株式であれ、債券であれ、「いちば」というところはアップダウンを繰り返しますから、当初決定した資産配分にズレが生じますね。

その配分のズレを、【元の状態】に戻してあげてくれることを『リ・バランス』と呼んでいます。あなたがポートフォリオによる投資を始めたら、1年に1度は『リ・バランス』をしてあげましょう。『リ・バランス』という作業は人間にたとえると、

- ・自分自身を振り返る
- ・姿勢を正す
- ・「基本」に戻る ということです。

「具体例」を挙げてみましょう。あなたは今、ポートフォリオ総額の約20%を日本株式インデックス・ファンドに投資しています。

円建てMMF	40%
日本株式インデックス・ファンド	20%
外国株式インデックス・ファンド	20%
外国債券インデックス・ファンド	20%

2011年、あなたにとって、とても「幸せな1年」がやってきました。日本の株式市場は大きく上昇し、あなたのポートフォリオに占める日本株式インデックス・ファンドの割合が35%に上昇しました。

円建てMMF	25%
日本株式インデックス・ファンド	35%
世界株式インデックス・ファンド	25%
世界債券インデックス・ファンド	15%

さて、この時あなたはどうしますか？

1. 「やったー！」と言って祝杯を上げる
2. 当初の配分割合からずれてしまったぞ、と認識する

(もちろん) 2. が正解なのですが、この時のあなたの気持ちはどうでしょうか？
「なぜ、配分割合が変わったからといって、リ・バランスする必要があるの？」
「調子がいいのなら、そのままにしておけばいいじゃない」 違いますか？

(人は直近のパフォーマンスがよいと、
更なるリスクを取ろうとする生き物なのです)。

しかし、上記ポートフォリオをそのままにしておくと、
あなたは当初想定していた以上の「リスク」を背負い続けることになります。

もし、ポートフォリオの中で重みを増した日本株式が、
その値を大きく下げることになれば、
ポートフォリオに与える影響は甚大になってしまいます。
では、あなたは何をすべきなのでしょう？

(答えはカンタンです) あなたは、ポートフォリオに占める割合が
元の20%になるように、日本株式インデックス・ファンドを一部「売却」し、
当初の組み入れ割合を下回っている金融商品を元の割合になるよう、
一部「買い増し」するのです(これが『リ・バランス』と呼ばれる作業です)

長きにわたって投資を行う中で、リ・バランスが
【幸せな習慣】であることは疑う余地がありません。なぜなら、
リ・バランスとは「高くなったものを一部売って、安くなったものを買い増しする」
行為に他ならないからです。

通常、高くなったものを売り、安くなったものを買い増すことには、
心理的な抵抗が伴います。しかし『リ・バランス』をあなたの習慣にすれば、

それを自動的に行うことができます。

投資においては、今どの金融商品を買うのが重要なことではありません。

厳しい言い方をしますと、買えるのは、誰にでも買えるのです。

大切なことは、買った金融商品たちを、しっかり管理していけるかどうかです。

購入した金融商品たちを、そのバランスに留意しながら、

いかに効率的に管理していけるのが、その人の「運用力」を計る真の物差しなのです。

さて、その「運用力」に必要なモノとは・・・？

根気、忍耐、継続性。そして、ある種の信念（うわ～、地味な世界ですね）。

あなたのポートフォリオは、あなたの作品です。

電車に乗っている間、頭の中で自分のポートフォリオを思い浮かべ、

「ああ、わたしは今、これくらいリスクを取っているんだ」と

実感できるくらいがちょうどよいのです。

あなたの投資目的に「合致」したリスクを背負い続けること・・・、

そのための『リ・バランス』作業なのです。

（それから、夫婦ゲンカをした時も、できればリ・バランスを心掛けてくださいね）